

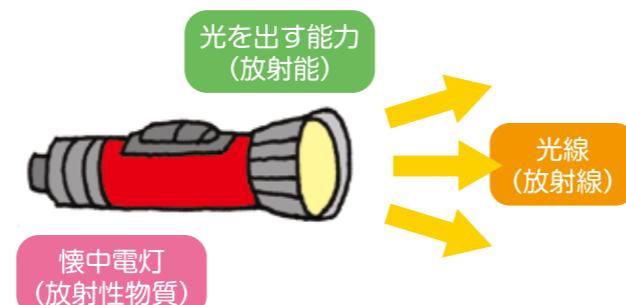
放射線と放射性物質、放射能の違い

放射能や放射線という言葉がよく使われますが、放射線を出す物質を「放射性物質」、放射線を出す能力を「放射能」といいます。

「放射性物質」から「放射線」が出ます。

懐中電灯に例えると

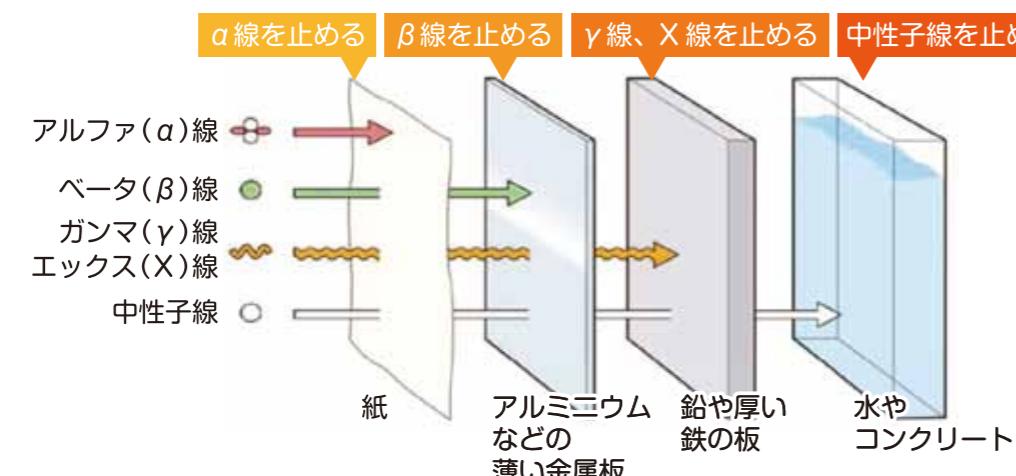
懐中電灯が「放射性物質」に、懐中電灯から出る光線が「放射線」に、懐中電灯の光を出す能力が「放射能」といえます。



放射線の性質

放射線には、アルファ線、ベータ線、ガンマ線、エックス線などの種類があり、もの通り抜ける性質があります。その性質は、放射線の種類によって異なります。

放射線は目に見えず、においも味もありません。



放射線は鉛・鉄・コンクリートで防ぐことができるため、原子力災害時には建物の中に入る屋内避難が有効となり、特にコンクリートの建物は放射線を防ぐ効果が高くなります。

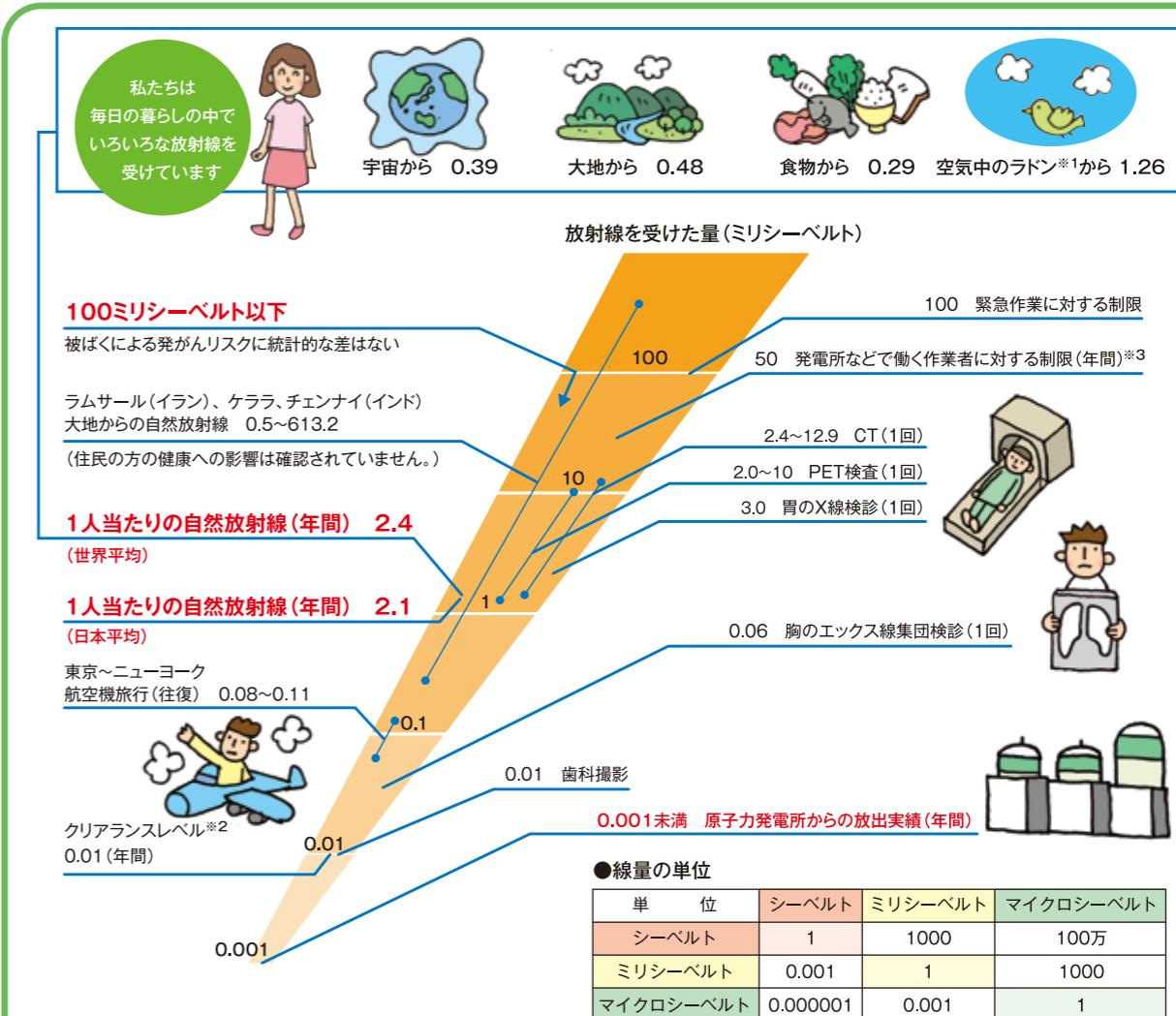
日常生活の放射線は？

放射線をたくさん浴びると、身体に悪い影響がでることがあります。

わたしたちはレントゲン撮影などの場合に放射線を受けるほか、毎日自然からの放射線を受けています。

日常生活の中で受けている放射線量はとても少ないため、健康に問題はありません。

【日常生活と放射線】



※1 空気中に存在する天然の放射性物質

※2 自然界の放射線レベルと比較して十分小さく、安全上放射性物質として扱う必要のない放射線の量

※3 発電所などで働く作業員に対する線量は5年につき100ミリシーベルトかつ1年間に50ミリシーベルトを超えない

参考：一般財団法人日本原子力文化財団「原子力エネルギー図面集2016」